



三方よし

藤枝市立藤枝中央小学校

道徳だより「三方よし」

校長 新村和彦

藤枝中央小の重点目標は、「三方よしを実行する子」です。「三方よし」とは、「自分よし 相手よし みんなよし」のことです。



藤枝中央小学校では、子どもたちの努力を惜しまない姿勢を「自分よし（自立・共生）」、相手のことを尊重し、相手への感謝や思いやりの心を「相手よし（感謝・思いやり）」、人と人との繋がりに感謝し、自分が力を発揮することで、みんなが支え合うあたたかな環境づくりに貢献することを「みんなよし（あたたかな環境）」とし、近江商人が商いを通して到達した「三方よし」の精神を重点目標に反映させ、「三方よしを実行する子」の実現を目指しています。

「自分よし」は、「自分だけよし」という自己中心的な考えでなく、子ども自ら努力をし、自分を高めていく姿勢（：態度と心情）を表しています。ですから、「自分よし」という考え方は、「まず自分よし」から始まるのです。「努力する自分」「思いやりのある自分」「正しい判断・行動ができる自分」等であれば、きっと、相手にもいい影響を及ぼすはずです。（「相手よし」）。結果、「その子の周り（家庭・地域も含む）」「その子の学級」「その子の学年」「藤枝中央小学校」へ「みんなよし」が波及していくものと信じています。

「まず自分よし」の姿勢（：態度と心情）を道徳の授業を中心に、そして、すべての教育活動を通して、育てていきたいと思っています。しかし、あたりまえのことですが、学校の道徳授業・教育活動だけでは、「自分よし」とする道徳性を養うことは難しいものがあります。家庭と地域が学校と連携して進めてこそ、「三方よしを実行する子」が育まれるものと考えています。（※「家庭よし・地域よし・学校よし」です。）

道徳だより「三方よし」は、道徳の授業のこと、子どもとの関わり・世の中の出来事・新村の体験等から感じたことをお伝えします。ご家庭において、「三方よし」に書かれている内容を話題にさせていただき、子どもの考えを聞いたり、日常の価値観の確認をしたり、「自分だったらどのように考え、行動・実践するか」と考えたりする中で、ほんの少しでも「三方よしを実行する子」の育成に繋がれば嬉しいです。令和3年度も、よろしくお願いいたします。

